

クイックマシンリカバリー

JJ1SXA/池

モールス通信での「QRM？」は、「そちらは混信を受けていますか？」です、一寸似ていますが、今回は「QMR」のことです。

今年7月にアップデート等でWindows11に実装された「クイックマシンリカバリー(Quick Machine Recovery…QMR)」は、Windows11の起動に失敗するなどの重大な問題が発生した際に、ユーザーが手動で操作することなく、Windowsの回復環境(WinRE)から自動で最新の修正プログラムを適用してPCを復旧させる機能です。

この機能は、クラウドと連携して最新の解決策を見つけ出すため、従来の方法では対処が難しかった問題にも対応できますとのこと。

2024年7月に発生した Crowd Strike のソフトウェア更新プログラムによる大規模なシステム障害(多くのPCでブルースクリーンエラーが発生し、起動できなくなった問題)への対応の一環として開発されたものようです。

以下の手順で、自分のPCに対応していることを確認し、設定を見直しましょう、スタート→設定→システム→回復→クイックリカバリーのトグル「オン」(初期設定がオフになっている場合もあるようです)。

ソリューションが見つからない場合も「オン」に。

また、ソリューションを探す間隔は推奨は30分ですが、短いほど良いとのことなので10分に変更、再起動の間隔は初期設定の一番短い180分で良いようです。

QMRはOSの構成やアップデートに関連した起動障害を主な対象としており、ユーザーファイルの復元やデータ損失には対応していません。

従来使っていたシステムの復元とクイックマシンリカバリーの違いですが、どちらもシステムの問題を解決するための機能だが、目的が異なります。

システムの復元は、インストールしたソフトウェアやドライバー、システム設定の変更など、一般的な問題発生時にPCを以前の正常な状態に戻す手動操作で、クイックマシンリカバリーは、PCが正常に起動しなくなった際に、ネットワーク経由で自動的に修復を試みる機能です。

(2025年11月記)